

名経大とつくる

地域のげんき!

[特集]

地域とともに学ぼう! 石垣真

- ごみ・消防・警察勉強会
- 愛知県子どもの学習支援事業
- 犬山城下町今昔マップづくり

地域の未来を応援!

- インターンシップ導入セミナー
- 犬山市スポーツ推進委員
- (仮称)小牧市こども未来館ワークショップ
- かがやけ☆あいちサステイナ研究所 開所式

石垣真

諸重山

石垣市商工会

地域と一緒に
盛りながろう!!

- 絵本・紙芝居の読み聞かせ
- ごまき産業フェスタ2018
- 犬山祭
- 木曾川鵜飼聞き
- 夏のインターナショナルウィーク
- 体験型プロジェクト

犬山学研究センター

- 第2回犬山学サロン

ごみ・消防・警察勉強会

～新入生(留学生)オリエンテーション～

入学式の翌日、留学生向けに日本の生活ルールについてオリエンテーションを開催しました。犬山市環境課から日本では何故ごみ分別をするのかを教えていただき、具体的な分別方法について学びました。犬山市消防本部予防課からは実際の火災事例、カセットコンロの正しい使い方、たばこの不始末による火災等のお話をしていただきました。また本年からは犬山警察署の方にもお越しいたいただき、日本での交通ルール・マナーについてもお話しいただきました。



全体を通して本当に素晴らしいオリエンテーションで、参加できたことにとても満足しています。講師の方々にとっても感謝しています。日本で生活する上でまちをきれいにするのは、全ての人の義務であること。また交通や緊急時の対応についても学びました。私は安全とルールについて当たり前だと思っていることにもっと注意を払わなければならないと感じました。

法学部1年 ● エマニエル エリシア オヌアブチ

私が印象に残ったのはカセットコンロを安全に使う方法でした。それまでは安全な使い方を知りませんでした。大切なことは①大きい鍋を使わない。②コンロを並べて使用しない。③近くにガス缶や燃えやすいものを置かない。この3つです。安全な使い方を無視して使うことは非常に危険で、安全に使うことが自分や他人を守ることにつながると思います。私はさらに自然災害や環境保護の知識を広げたいと思っています。環境を維持するためには、特に廃棄物の適切な仕分けが重要だということがわかりました。

犬山市 × 犬山警察署

コラボ × 名経大

2018(平成30)年4月2日(月)
名古屋経済大学



愛知県子どもの学習支援事業

～家庭的な居場所づくり～

生活困窮世帯等の子ども達を対象に、将来の進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるよう、基礎学力の定着と心地よい「居場所」の提供がこの事業の目的です。

扶桑町では、その居場所を「ココイクル」と名付けました。学習支援員・学習支援員補佐(名古屋経済大学学生)、居場所補助員(調理実習等の補助)で支援を行っています。学生は学習支援や土曜日の調理実習等のイベントに子ども達が積極的に参加できるように働きかけをしています。

扶桑町の特徴は「家庭的な居場所づくり」の充実。学習支援だけでなく、調理実習からランチ会をしたり、卓球・トランプ・オセロ等の遊びを一緒に楽しんだりしています。事業を運営する「ママちよこ」では、子どもたちに人を思いやる心、家族への感謝の気持ちを高めてほしいと願っています。大学生が参加することで兄弟、姉妹のような関係が築かれ、貢献度はかなり大きいと感じています。この活動を通して、社会にはいろいろな子ども達がいて、いろいろな家庭があるということを感じ取ってくれたら、これから進むべき道に役立つのではないかと思います。

扶桑町「ココイクル」学習支援員兼コーディネーター ● 松岡 由里子

愛知県 × NPO ママちよこ

コラボ × 名経大

2018(平成30)年5月12日(土)～
丹羽郡扶桑町：ココイクル



犬山城下町 今昔マップづくり

～鈴木しづ子生誕100年記念～

鈴木しづ子顕彰会 × 名経大

コラボ

2018(平成30)年5月9日(水)～
名古屋経済大学

鈴木しづ子は犬山城下で幼少を過ごし2冊の句集を残し消息を絶った俳人です。鈴木しづ子生誕百年を記念し、10月に「第十回 いのちの俳句大会」が犬山の地で開催されます。

経営学部・基礎演習Ⅰ(山下ゼミ・大曾ゼミ)では、鈴木しづ子が幼少を過ごした犬山城下町の観光マップ作りを進めています。それに先立ち5/9(水)・5/30(水)には鈴木しづ子顕彰会の宮地瑛子様をお迎えし、俳人「しづ子」について学び、6/3(日)には城下町へフィールドワークにでかけました。マップを通じて、学生の視点で犬山城下町の更なる魅力を発信していきます。



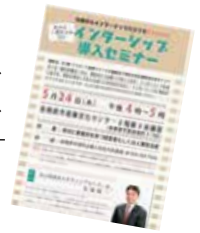
インターンシップ導入セミナー

2018 (平成30) 年5月24日 (木)
各務原市産業文化センター



各務原市×名経大 **コラボ**

インターンシップを推進する各務原市商工振興課企業人材全力応援室では、地域企業に知見を得る機会として「インターンシップ導入セミナー」を開催し、本学の大黒光一キャリアセンター長が「効果的なインターンシップのコツ」をテーマに講師を務めました。



犬山市スポーツ推進委員

2018 (平成30) 年4月11日 (水)
犬山市体育館 (エナジーサポートアリーナ)

～経済学部学生が非常勤公務員に委嘱～

犬山市スポーツ推進委員となった4名は、昨年の秋から様々な活動に参加し、その実績が認められスポーツ推進委員会席上で正式な委嘱を受けました。今後は犬山市のスポーツ推進を目的とする事業の企画運営や指導等の活動を行います。

※スポーツ推進委員とはスポーツ基本法 (平成23年法律第78号) 第32条の規定に基づきスポーツの推進を目的に市町村の教育委員会が委嘱するもので、身分は非常勤の公務員となります。

犬山市教育委員会×名経大

コラボ

「若い力」に期待します。

犬山市スポーツ推進委員は、気軽に運動やスポーツを行いたい市民のみなさんに向けて、軽スポーツやニュースポーツを楽しく体験する機会を、年間を通じて定期的に提供し、一人でも多くの方が健康でいきいきとした生活を送れるよう努力しています。今年、名古屋経済大学から新たに4名が私たちの仲間に加わりました。親子ほどの年齢差に戸惑いながらも、若い力とアイデアに期待し、一緒に頑張っていきます。

犬山市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 ● 宮田 孝秀

投げる走る捕るいろんな動作を覚えてもらいスポーツを楽しんでもらいたいです。経済学部3年 ● 梶 晃輔

みなさんと一緒に楽しみながら、スポーツの推進に貢献できるよう頑張ります。経済学部3年 ● 宮崎 拓哉

みなさんとふれあいながら、地域貢献できるよう頑張ります。経済学部3年 ● 高岡 俊平

少しでも多くの方にスポーツの楽しさを感じてもらえるように精一杯取り組みます。経済学部3年 ● 安江 大河

（仮称）小牧市こども未来館ワークショップ

2018 (平成30) 年6月9日 (土) 小牧市役所

（仮称）小牧市こども未来館の設計案について、学識経験者・地域関係者・大学生・中高生などおよそ40名が参加し、どうしたら安全・安心に心地良く利用できるかについて意見を出し合いました。参加した学生は「楽しいだけでなく、親子が安全に過ごせるようボランティアで“見守り隊”を結成したらどうか」や「施設内の回遊通路をこどもが走ると危険なので、歩きたくないネーミングにしたらどうか」など、保育士を目指す学生の視点からの意見を述べました。

小牧市こども未来部 こども政策課 ● 北川 高広



山下 史守朗
小牧市長挨拶

小牧市×教育保育学科 **コラボ**



長江ゼミ生積極的に意見を発表しています!

かがやけ☆あいちサスティナ研究所 開所式

2018 (平成30) 年
6月17日 (日) 愛知県庁

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」は愛知県が実施する事業で、未来の愛知の担い手となる学生研究員がパートナー企業から提示された環境面での課題に対し、現場での調査や企業担当者とのディスカッションを経て解決策を企業に提案するものです。開所式では研究所長である大村知事から激励を受けた後、県内大学から選ばれた21大学40名の研究員が企業担当者と意見交換を行いました。

愛知県×企業×名経大

コラボ



「あいちサスティナ研究所での学びを広め、あいちを盛り上げていきたいです!」
経営学部3年 ● 坪井 真実子



「今回の活動を通して環境への理解を深め、多くの方が挑戦できる環境活動を広めたい!」
経営学部3年 ● 鈴木 里佳

地域と一緒に盛りあがろう!

絵本・紙芝居の読み聞かせ

2018(平成30)年4月10日(火)
タリーズコーヒーOKB田県店

地域に根ざしたコミュニティーカフェを目指すタリーズコーヒーOKB田県店で地域の親子を対象に行なっている読み聞かせが教育保育学科の新メンバーに引き継がれました。



スクールバス発着所に隣接する、
タリーズコーヒー OKB 田県店

コラボ

TULLY'S COFFEE
×教育保育学科

自分たちで何の絵本を読むか、手遊びをするか、どうしたら子どもたちが楽しんでくれるかを考えました。練習の中で、お互いの良いところ、改善すべきところを話し合っています。いざ本番となると緊張してしまい、練習通りにいかなくてパニックになってしまう時もあります。そのような時は、仲間同士でフォローし合い、子どもたちの力も借りながら楽しい時間にすることができました。この経験が、今後の実習や将来に生かせるようにこれからも頑張りたいです。

教育保育学科2年●奥原 颯梧



「こまき産業フェスタ2018」

2018(平成30)年
5月26日(土) 27日(日)
パークアリーナ小牧

～わくわくパクン動物ひろば～

“飛躍する小牧 翔け輝く未来へ”をテーマとするこまき産業フェスタ2018に、教育保育学科3年生がブースを出展しました。各ゼミごとに動物ひろばのイメージを話し合い、『どのようにしたら子どもたちを喜ばせることができるか』と試行錯誤しながら、ボール投げボードを制作しました。2日間で約1,200名の方をお迎えし、笑顔溢れるブースとなりました。経済学部学生研究室や全学ゼミのメンバーは来場者アンケートの実施や職場体験コーナーでフェスタを支えました。

コラボ

小牧商工会議所
×教育保育学科
×経済学部×法学部

経済学部・法学部学生が
本部スタッフとして
商工会議所の方と打合せ中。



人間生活科学部
教育保育学科3年
秋田・関谷・多川・長江ゼミ生

動物ひろばに来た子ども達は、ボールが穴に入ると嬉しそうに笑ったり喜んだり。私たちも「すごいね!上手に入ったね!」とハイタッチや拍手を送り、楽しく過ごすことができました。ブースの担当をいただいた時からゲームを考え仲間たちと意見交換しながら準備し大変な部分はありましたが、当日子ども達の楽しそうな姿を見ることが出来てよかったです。また年齢の違う沢山の子も達と関わり、声のかけ方や対応の仕方等、気づかされる面も多くあったフェスタでした。

教育保育学科3年●柳川 愛里

犬山祭

2018(平成30)年4月7日(土) 8(日)
犬山市城下町



写真左: 経営学部1年●大浜 寛敬



犬山市観光協会
×犬山商工会議所
×石垣市商工会×名経大
まつりコラボ

第384回の犬山祭では、新メンバーとなった犬山観光学生大使が祭り会場や総合案内所で多くの観光客をお迎えしました。また犬山駅前のぼんでん横丁では、管理栄養学科の学生が犬山商工会議所青年部と取り組んできた「石上げピラフー」をキッチンカーで調理・販売しました。石垣市出身の経営学部1年の大浜君は、犬山祭友好都市交流物産展の石垣市商工会ブースのみなさんと黒糖・海ブドウ・パイナップル・泡盛など特産品の紹介と販売を通じ、石垣島のPRに努めました。



地域と一緒に盛りあがろう!

木曾川鵜飼開き

2018(平成30)年6月1日(金)
犬山市：木曾川畔

～犬山学生観光大使～

木曾川鵜飼開きで犬山学生観光大使5名が司会やアシスタントとして鵜飼の歴史や犬山観光について説明しました。

犬山市×各務原市
×犬山市観光協会
×名経大

コラボ



ミスかみかみはらと一緒に鵜匠さんへ花束贈呈

木曾川鵜飼開きの司会をさせていただきました。緊張してうまくできなかった部分もありますが、人前で話すという貴重な機会に感謝しています。
経営学部3年●岡澤淑未



夏のインターナショナルウィーク

～地域と国際交流イベント～

国際交流を深める週間「夏のインターナショナルウィーク」が開催されました。「旅カフェ」では、学生の企画提案による地元名古屋市の紹介があり、地域の方々とともにイベントを通じて交流を深めました。日本人学生も積極的に参加し、留学生と互いの文化に触れる機会になりました。

犬山市
×
名経大

コラボ

2018(平成30)年5月28日(月)～6月20日(水)
名古屋経済大学

5/28
インターナショナルサッカー



私が所属する犬山市のサッカーチームと留学生チームとの地域国際交流を目的とした親善試合へ参加するため、約20年振りに母校へお邪魔させていただきました。チーム平均年齢の差からも試合結果は歴然としていましたが、計5試合、若さあふれる留学生達と共に素晴らしいグラウンドで有意義な時を過ごすことができました。

今後も「地域に根ざした大学」としての特徴を活かしながら、様々な角度からの地域貢献を期待しています。

1995年卒業生 ●松田 敬久

6/13・15
情報発信鵜飼



情報発信鵜飼参加者の声

景色が美しい!きれいな!楽しい!という声が圧倒的に多く、自分の国に「鵜飼」がないから家族・友人に知らせたい!日本文化が学べてよかったと語ってくれました。

体験型プロジェクト

～日本の伝統文化を知る～

地域の方々の協力を得て行われる授業「体験型プロジェクト」の中で、～日本の伝統文化を知る～では、郡上踊りや和太鼓の由来を学び実際に踊りや和太鼓演奏、浴衣の着付け、日本料理に挑戦しました。留学生と日本人学生がともに体験型プロジェクトを通し、日本の伝統文化への理解を深めました。

2018(平成30)年
4月17日(火)～7月24日(火)
名古屋経済大学

地域×名経大

コラボ

4/24
郡上踊り



5/8
和太鼓



7/17
浴衣の着付け



第2回犬山学サロン

2018(平成30)年
6月26日(火)
名古屋経済大学

地域コミュニティにおける神社の役割～大縣神社と丹羽～

第2回犬山学サロンでは愛知県神社庁長・大縣神社宮司の牧野武彦氏をお招きし、尾張の二宮様として親しまれている大縣神社のいわれや大縣神社と丹羽との関わりを例に地域のコミュニティ形成に神社が担ってきた役割などをお話しいただきました。

また現在全国各地で、その地域における「ハレ」の日であった「まつり」が担い手不足のため消滅している現状を憂い、存続に対する取り組みなども紹介いただきました。

本殿は、
国の重要文化財に
指定されています。



神社や寺院は、地域の歴史的な文化資源が集積されてきた場所です。大学の地域連携事業で、今回のように神社と大学とが直接つながりを持つ機会を得ることは、大変重要であると思います。今後の展開に期待しています。

愛知文教大学 人文学部人文学科 ●内田 吉哉 准教授

講師は愛知県神社
庁長・大縣神社宮司
牧野武彦氏



学生の聴講も増え、
地域の歴史研究家や
各種機関からも
多くの方に参加いただきました。



初めて犬山学サロンに参加しました。内容が少し難しいと感じましたが、この地域から青銅器が発見されたことなど大変興味深く聞くことができました。また、地域のコミュニティ形成に神社がなくてはならない存在だったことを知ることができました。

法学部ビジネス法学科 3年 ●荒川 真直

犬山学ネットワーク調印式・記念講演会を開催!

平成30年9月4日(火) 18:00～ 会場:名鉄犬山ホテル 記念講演会講師:徳川林政史研究所長 竹内 誠氏

名古屋経済大学オープンカレッジ2018 受講者募集中!!

時間 10:00～11:30 受講料 2,000円

定員
100人



「～知を営む～名経で再発見!」をテーマに、新しい分野へのチャレンジやシニアの学び直しをサポートします。本年度より「犬山学」講座を学園祭と同時開催し、当日は学園祭チケットを配布いたします。犬山市外の方も受講可能です。

★第1回 9/29(土)	『うつ病とマインドフルネス認知療法』	人間生活科学部教授 家接 哲次
●第2回 10/13(土)	『明治維新と犬山の科学技術』	経済学部教授 菊池 好行
●第3回 10/14(日)	『自由民権運動期の犬山』	経営学部教授 中村 真咲
★第4回 11/17(土)	『インターネットの利用と著作権』	法学部准教授 淵 麻依子

★第1・4回は犬山国際観光センターフロイデ ●第2・3回は名古屋経済大学(犬山学講座)

犬山市民総合大学
敬道館の講座も受講できます。

時間:13:30～ 会場:犬山市文化会館
9/8(土)山崎武司(スポーツコメンター) 3/9(土)卒業式・土井隆雄(宇宙飛行士)

申込方法

名古屋経済大学犬山学研究センターへ電話(平日9時～17時)またはメール
①氏名②年齢③郵便番号④住所⑤電話番号⑥メールアドレスをお知らせください。

※個人情報の取り扱い:
オープンカレッジ事業のみで使用。
犬山市文化スポーツ課と共有致します。



学校法人 市邨学園

名古屋経済大学

●お問い合わせ先

地域連携センター TEL0568-68-3282

FAX 0568-67-0724 MAIL chiiki-c@nagoya-ku.ac.jp
〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL0568-67-0511(代表)